

## 国道459号「<sup>みやこ</sup>宮古トンネル」開通



国道459号は、明治の頃には山都<sup>やまと</sup>と新潟県津川<sup>つがわ</sup>を結び、米・繭・塩などを運ぶ交易ルートであり、昭和16年には、中反から<sup>みやこ</sup>宮古を経由し奥川までの区間が、県道に指定されました。平成5年には、現在の国道459号に指定され、山都町宮古地区、西会津町<sup>おくがわ</sup>奥川地区と山都町の中心部を結び、地域間の連携と交流を支える重要な幹線道路としての役割を担っております。



【H18 雪崩発生状況】

しかしながら本区間は、幅員が非常に狭い上に、急カーブや、道路際が切り立った崖になっている部分も多く、交通に支障を来しておりました。特に冬期間には、雪崩の発生により全面通行止めとなることもありました。

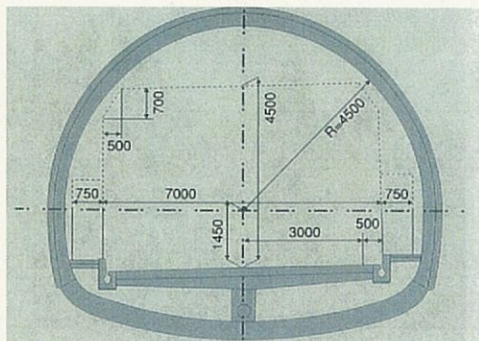
このため県では、平成15年度から国道改築事業に着手するとともに、平成18年度からは宮古トンネルの工事を進めて、11月27日に延長546メートル、幅員7メートルの宮古トンネルが開通することができました。





【通り初め】

今後は、トンネルの開通により、地域に住む方々の生活がより安全で便利になるとともに、さらに多くの方々がこの地域を訪れ、その魅力を感じていただけるものと期待しております。



【宮古トンネル標準断面】

～宮古トンネル事業概要～

延長：L=546m

幅員：W=7.0m

道路規格：第3種3級 設計速度：40km

事業期間：着手：平成15年度

完了：平成20年度